



# 千年前から変わらないのどかさ 夫婦を見守る田園の神様がいる

—— 宮崎県えびの市

南北を山に挟まれた盆地に田畑が広がり、昔と変わらぬ田園風景が残るえびの市には、田の神さあの信仰が今も息づいている。この町に老後の穏やかな暮らしを求めて移住した人が営む、古民家カフェを訪ねてみた。

## 一番の「ごちそう」は時間と空間 動物と戯れ緩やかに過ごす

九州自動車道を熊本方面から下り加久藤トンネルを抜けると、えびの盆地の開放的な光景が目に見え込んでくる。それまでトンネルが連続する道を行っていただけに、その爽快感は格別だ。

えびの盆地は、島津氏の支配下にあった時代から続く南九州有数の穀倉地帯で、現在も町の至る所に田園風景が広がり、その中をドライブするだけでのどかな気分がさせてくれる。その田園地帯の小さな集落の中に、「軒の古民家カフェ」田の神さあがある。

名古屋で建設関係の会社を経営していたオーナーの各務元春さんは、老後は田舎でのんびり暮らしたいという妻・順子さんの希望もあり、平成25年、順子さんの故郷であるえびのに移住してきた。乗馬、バラグライダー、ダイビングと多趣味な各務さんにとって、指折りのバラグライダー基地であるえびのは、趣味を楽しめる最高の環境だという。また、趣味を通して全国各地を訪ねた各務さんにとって、えびのは居心地のいい空気が感じられたようだ。

「周囲の風景も千年前と変わってないんじゃないかと思えるぐらいのんびりとした雰囲気です。いますよね。でも、いつでも乗れると思って初めて馬を飼ったけど、馬の世話と店が忙しすぎて、それどころじゃないです（笑）。料理は妻に任せますが、接客とサービスは私の担当です。」

店にいて常に心がけていることは、客と「コミュニケーション」を取る。そこでの会話が印象に残り、過ごした時間が心地よい記憶となって、また来たいと思ってしまう。

## 田の神さあを探しながら 田園地帯をのんびりと

カフェの店名の由来となっている田の神さあとは、田畑のそばに奉られている石像のこと。文字通り田の神を意味し、五穀豊稔の願いが込められているが、石像を奉るのは島津藩であった鹿児島と宮崎の部を中心とした、限られたエリアに伝わる風習だとか。えびのには数多くの田の神さあが残っており、それらを探して巡ることが、旅のテーマの1つとして注目されている。

「一口に田の神さあといっても、どれも個性豊かというのが最大の魅力。あるものは祠に納められたり、またあるものはあぜ道の脇に風景に溶け込むように佇んでいたりと、奉られ方もそれぞれであれば、色や形、大きさも一つ一つが異なる。特に農民型に分類されているものは、片手にめしげ（しゃもじ）、片手にお椀を持ち、その表情も何ともユーモラス。白塗りの化粧を施されているものも多く、どこか憂いを含んだ笑顔が心を癒やしてくれる。」

広大な田んぼの中にさりげなく奉られているので、見つけるのに苦労することもあるが、それだけに出会えたときの感慨もひとしお。なお、観光協会では田の神さあマップを配布しているほか、ホームページでも公開しているので、それを頼りに探すのもオススメだ。



古民家カフェ 田の神さあ  
宮崎県えびの市島内1462 ☎090-3383-3751  
[営]9:00～17:00 [休]金曜日



白鳥温泉上湯 えびの高原に向かう山の中腹にある、白鳥温泉上湯。露天風呂からはえびの盆地を一望できる

宮崎県えびの市末永1470 ☎0984-33-1104  
[営]7:00～20:00 [休]第1火曜日 [料]大人310円・小人210円



立ち寄り道の駅



## 道の駅えびの

地元生産者から毎朝届けられる、新鮮野菜を使用したランチバイキングが大人気。約40種類の料理が並び、飲み放題のドリンクバーも付いて、大人から子どもまで大満足の品揃えだ。霧島連山と田園風景を一望できるカウンター席がオススメ。料金は大人1,100円、小学生700円、小学生未満500円。（各税込）

宮崎県えびの市永山1006-1 ☎0984-35-3338  
[営]9:00～18:00 ※食堂は11:00～15:00 [休]第3火曜日（祝日の場合翌日）・1月1・2日 [アクセス] ◎九州自動車道えびのICからすぐ



移住前、時間を見つけてはえびのに通い、築100年の古民家を3年かけて再生させた

白鳥温泉上湯の裏手にある噴気地帯。温泉の別棟には、蒸気を利用した蒸し風呂もあり



田の神さあ特製ランチ1,000円。必ず一品は名古屋らしい味付けの料理を盛り込んでいる。モーニング380円もあり（いずれも税込）



末永地区にある田の神さあ。明治元年に造られたもので、えびのの田の神さあの中でも象徴的な存在

おへそを出した姿が可愛い晶明寺の田の神さあ。どの田の神さあも常に花が生けられ、大切にされていることが分かる



多趣味な各務さん。店内には長年かけて集めたアンティークの調度品が飾られている